

しちょうめっせーじ
〈COVID-19 についての市長メッセージ〉

いせさきし はじ おお ひと ねん がつ
伊勢崎市で初めて多くの人が COVID-19 にかかったのは、2020 年 4 月でした。それから
ねん た へんか ういるす いま おお ひと
2 年が経ちましたが、変化するウイルスによって、今も多くの COVID-19 にかかっている人が
ほうこく
報告されています。

COVID-19 によって亡くなった人たちが安らかに眠れるよう、心からお祈りします。また、
いま ちりょう ひと こういしょう くる ひと みま もう
今 COVID-19 の治療をしている人たちや、後遺症に苦しんでいる人たちに、お見舞いを申し
あ
上げます。

ぐんまけん にゅういん ひと すこ へ
群馬県では、COVID-19 で入院している人は少しずつ減っています。しかし、まだ COVID-19
ひと おお ぐんまけんちじ がつ にち どうようび がつ にち きんようび
にかかっている人は多いので、群馬県知事は、4 月 23 日(土曜日)から 5 月 13 日(金曜日)
けいかいれべる さ
までの警戒レベルを下げませんでした。

やす ひ おお じき ひろ しんばい いま いろいろ
休みの日が多くなる時期になり、COVID-19 が広がるのが心配です。今まで色々なこと
がまん としよ こども こころ からだ けんこう しんばい
を我慢している、お年寄りや子供たちの心と体の健康も心配です。COVID-19 のことや
わくちん こうか ひろ こうどう こうか いま おお
ワクチンの効果のこと、COVID-19 が広がらないようにするための行動の効果など、今は多く
わ ふだん せいかつ じき おも
のことが分かってきました。普段の生活をできるようにしていく時期になったように思います。

ちいき まつ はじ かんが ちいき だいひょう ひと
地域のお祭りなどについても、始めることを考えてほしいと、地域の代表の人たちにお
ねが あんぜん はじ ちえっくりすと つく しみん みなさま
願いしました。安全に始められるように、チェックリストも作りしました。市民の皆様には、
ちいき ぎょうじ さんか おも がっこう ぶかつどう しゅうがくりょこう はじ
地域の行事に参加してほしいと思います。学校の部活動や修学旅行も、始めることを
かんが おも ひろ
考えてもらいたいと思います。しかし、これからも COVID-19 が広がらないようにすることは、
つづ ますく て あら ひと おお ばしよ
続けなければいけません。マスクをつけること、よく手を洗うこと、人が多い場所にはできる
い くうき い ひと ひと きより つづ いろいろ
だけ行かないこと、空気を入れかえること、人と人の距離をあけることを続けながら、色々な
ことをできるようにしていくことが大事です。ワクチンを必要な人が、受けられるようにして
ひつよう
おくことも必要です。

こんらん お しみん みなさま ひろ きょうりよく
COVID-19 による混乱が終わるまで、市民の皆様には COVID-19 が広がらないように協力を
ねが
をお願いします。

れいわ ねん がつ にち
令和 4 年 4 月 27 日

いせさきしちょう ひじ やす お
伊勢崎市長 臂 泰 雄